

追 悼

名誉会員 川上義弘博士 を 悼 む



社団法人日本鉄鋼協会名誉会員工学博士故川上義弘君の告別式に当り、君の鉄鋼業に貢献せられたる偉大なる功績を追憶し、洵に哀悼の念に堪えないところであります。

君は夙にわが国製鉄技術の権威者として令名高く、各方面の要職に在つて異常の活動と手腕を発揮せられるとともに後進の誘掖、研究の推進に対し貢献せらるるところ尠からず、なお今後斯界の指導者として君に負うところ至大なるものがあつたのであります、今俄に逝去せらる、真に痛恨の極みであります。

特に本会に対しましては、理事、支部長、評議員等の主要役員として多年に亘り本会発展のため一方ならざる御尽力を賜つたのでありまして、協会が今日の隆盛をなすに至りましたことは君の功績に負うところまことに大なるものがあり、会員一同深く感銘致しております。

今やわが国製鉄業発展の途上、君の指導を待望することの切なる秋、突如君の如き斯界の権威者を失いましたことは本邦鉄鋼業界の一大損失でありまして、邦家のため洵に痛惜に堪えざるところであります。

茲に日本鉄鋼協会を代表し、君の遺されました幾多の業績に対し深甚の敬意を表し、謹みて君の冥福を祈り、哀悼の誠を捧げ以つて弔詞と致します。

昭和 34 年 3 月 24 日

社団法人日本鉄鋼協会会長 塩 沢 正 一

川 上 義 弘 博 士 略 歴

明治 16 年 11 月 3 日	神奈川県藤沢町において川上康の次男として誕生
明治 30 年 9 月 1 日	東京地方幼年学校入校
明治 37 年 3 月 18 日	陸軍砲兵少尉任官
大正 2 年 7 月 10 日	東京帝国大学工学部冶金学科卒業
大正 7 年 11 月 8 日	欧米に出張軍事工芸に関する研究を命ぜらる (主として英国に駐在)
大正 11 年 7 月 19 日	東京帝国大学工学部講師嘱託
昭和 3 年 4 月 23 日	金属材料研究所嘱託兼補
昭和 4 年 10 月 16 日	耐錆鋼に関する研究論文により工学博士の学位を得
昭和 10 年 8 月 1 日	陸軍中将昇任
昭和 10 年 10 月 1 日	株式会社神戸製鋼所取締役就任
昭和 20 年 1 月 15 日	特殊製鋼株式会社取締役副社長就任
昭和 30 年 4 月 6 日	社団法人日本鉄鋼協会名誉会員
昭和 34 年 3 月 22 日	死 去